

## 平成29年度第1回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成29年5月18日（木） 10:00～12:00

場 所 市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（6名）

和田 克正（契約監理課 課長）

種村 悟（ ” 課長補佐兼検査指導係長）

松本 浩二（ ” 課長補佐兼契約調達係長）

藤堂 真志（ ” 契約調達係）

石川 友紀（ ” 契約調達係）

稲垣 吉文（上下水道部 企画総務課 課長）

林 一博（ ” 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（9名）

栗原 繁憲（上下水道部 工務課 課長）

西田 喜久（財政課 課長）

高柳貴久蔵（財政課 課長補佐兼公共施設マネジメント係長）

出口 敏幸（土木課 課長）

伊藤 尚樹（土木課 維持係）

## 事 項

### 1 開 会

#### 【事務局】

おはようございます。

本日はご多忙の中、ご出席を賜りありがとうございます。

定刻になりましたので、第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に、本来なら、私どもの総務部長から挨拶を申し上げるところですが、総務部長は、今日は欠席ということでございますので、ご了解いただきたいと思います。

かわりまして、私のほうから簡単に日ごろの皆様へのお礼と挨拶をさせていただきます。

本日は、第1回の入札監視委員会ということで、今年度初めてということで、皆様におかれましては、新たにまた入札監視委員を事務局のほうからお願いさせていただきましたところ、ほんとうに快くお引き受けいただきまして、ありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。

さて、先日25日に、皆様からまとめていただきました提言書を私どもの市長に提出いただきました。ありがとうございます。皆様から貴重なご意見をいただきました提言書に基づきまして、私ども、できる限り速やかに、今日からでも改善をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

入札には、ほんとうに、言っていますけど、毎年毎年改革改革ということで、これがいいと、ベストの方法はなかなかありません。ですので、これからも委員さんの皆様をはじめ、またいろんなご意見をいただきたいと思います。

また、国のほうからも毎年、こういうふうになさいという指示が今年度も来ておりますが、国と私どもとは、工事の規模、また予算規模、まるっきり違いますので、丸々それをうのみにはできませんけれども、そこら辺でいい、取捨選択をさせていただいて、本市に合った改革をこれからも引き続き進めていきたいと思いますので、委員の皆様にはそれぞれ専門的なお立場からご意見をいただきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は、この後、またいろいろご審議いただきますので、よろしくお願いいたします。

簡単でございますが、私のほうから冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の議事につきまして、お手元の事項書に基づきまして進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たしておりますので、本会議は成立をいたしていますことをご報告申し上げます。

次に、議事の進行でございますが、先ほど申しました5月1日付で改めて委員にご就任をいただいております初めての委員会ということで今日はございますので、まず、委員長の選任をしていただくまでは事務局の私、和田が進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ここで、簡単に、今年度事務局のメンバーを私のほうから紹介させていただきます。

部長は、今日欠席しておりますが、平野でございます。

それから、私の右隣ですが、契約調達係長の松本です。

【事務局】

お願いします。

【事務局】

隣が検査指導係長の種村です。

【事務局】

よろしくお願いします。

【事務局】

それから、後ろにおりますけど、担当の男性のほうが藤堂、女性が石川でございます。

【事務局】

よろしくお願いします。

【事務局】

事務局は以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### ・委員長、副委員長の選任について

【事務局】

次に、人事案件でございますので、この箇所は非公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、委員長、副委員長の選任でございますが、選任につきましては、桑名市入札監視委員会条例第4条第2項の規定により、互選によって定めていただくことになっておりますのでお願いいたします。皆様、何かご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

【委 員】

引き続き東川委員にお願いしたいと思いますが。

【事務局】

ありがとうございます。

そのほか、何かご意見はございますでしょうか。

【委 員】

異議なし

【事務局】

ありがとうございます。

それでは、特にないようでございますので、東川委員、お引き受けいただけますでしょうか。

【委 員】

はい。

【事務局】

ありがとうございます。

それでは、東川委員に委員長をお願いしたいと存じます。

ここで、先生には委員長席のほうへご移動をよろしくお願いいたします。

(委員長席への移動)

【事務局】

ありがとうございます。

ここで、東川委員長から就任のご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ただいま委員長に推薦いただきました東川でございます。

私も、ある期間、委員長を続けておりますけれども、社会全体の経済状態に伴って、入札をめぐる状況もほんとうに、個人的にいても、すごくダイナミックに変わるということに驚いています。ですので、それに伴って、さっきもご挨拶がありましたけれども、一番いい入札の方法というのもおのずと見直しをしていかないと、一回決めたのがいつまでもベストであるということではないということを実感しておりますので、また皆さんのご協力で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、続きまして、早速ではございますが、副委員長の選任を行いたいと思います。

副委員長の選任につきましても、条例の規定により、委員の互選で定めることになっております。皆様、何かご意見とかはございませんでしょうか。

【委 員】

前から引き続き、伊藤先生をお願いしたいと思いますがどうですか。

【委員長】

ほかに意見はございますか。

【委 員】

異議なし

【委員長】

それでは、特にないようですので、引き続きになりますけれども、副委員長のほうをよろしくお願いいたします。

あと、傍聴者の件ですけれども、本日の会議は一般公開となっておりますけれども、現在のところ、傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点でまた傍聴の可否についてはお諮りをさせていただきたいと思います。

## 2 議 事

### (1) 平成29年度の入札制度の改正について

それでは、早速議事の(1)です。平成29年度入札制度の改定につきまして、事務局のほうからご説明をお願いします。

#### 【事務局】

おはようございます。事務局の松本です。座って失礼いたします。

それでは、平成29年度の入札契約制度の変更等について報告をさせていただきます。

その前に、資料に、申しわけありません、誤りがございましたので、2ページをあけていただきたいのですが、2ページの一番上のところの2行なんです、「は、別表第1」と書いてあるところから、2行目の「計算式のスクラップ表価額」というところまで、不要な2文が入っていましたので、これは消していただけますでしょうか。申しわけございません。

では、改めまして、資料の1ページをお願いいたします。

本年度につきましては、1点が前年に引き続けているもの、2点が本年度からの変更となっております。

1点目といたしましては、緊急経済対策の延長についてということで、予定価格1億5,000万円未満の建設工事の原則市内の優先発注を平成30年3月31日までの1年間、延長とさせていただきました。

続きまして、2点目の最低制限価格算出に係る基準価格及び低入札価格調査制度に係る調査基準価格の算出式についてですが、平成29年4月1日より、この2つの基準価格及び調査基準価格の算出式を県に倣い、3ページのほうに記してございますが、そのとおりに改正をいたしました。これにより、基準価格が数%ほど上昇することとなりました。また、端数につきましては、今まで1,000円どめであったものを1万円どめという形にさせていただいております。詳しくは、また後ほど資料のほうをごらんください。

3点目は、スクラップ評価額の取り扱いについてです。これは、29年度から、県に倣い、最低制限価格や調査基準価格の掲載時に、直接工事費に加えて算出することとなりました。

制度の改正につきましては以上となります。

#### 【委員長】

ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見、何かございましたらよろしくをお願いします。

#### 【委 員】

スクラップ評価額について、もう少し説明していただきたい。

#### 【事務局】

スクラップ評価額なんですけど、年ごとに積算の設計とかの内容で、スクラップ評価額の表記の位置が違ったりするのがあるんですけど、去年までですと、スクラップ評価額が直接工事費に入ったり、あるいは、全て計算を最低制限価格の計算が済んでからその分だけ引いたりとか、まちまちになっていたところがあったので、その辺を三重県のほうに倣いまして、直接工事費が見られるということで、表記は、どこでスクラップ工事がありましても、計算の段階では直接工事費のほうに入れて計算をするというふうに統一をさせていただきました。

#### 【委 員】

スクラップというのは、現状の建屋を壊して更地にするところがスクラップ。

【事務局】

そうです。例えば、取り壊しとかで何か壊して出たものの、例えば、鉄とかアルミとか、売れるものがございしますので、それは、結果的にそれを売っていただくと安く済むという形になりますので、直接工事費から引く形でその金額が減るという形になります。その分の計算をどのタイミングでやるかということになります。

【委員長】

ほかにはどうですか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この件につきましては以上といたしたいと思います。

## (2) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは、次に、議事の(2)です。入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから報告してください。

【事務局】

それでは、指名停止の状況について説明させていただきます。

資料、6ページをお願いします。6ページから7ページになります。

指名停止につきましては、今回の審議対象期間である平成29年1月から3月の3カ月の間に指名停止措置を講じた件は、6・7ページにございますように、7件となっております。そのうち、市が独自に指名停止を講じた1件について説明させていただきます。

7ページのほうをごらんください。7ページの一番右の表になりますが、こちらをごらんください。

防災・危機管理課発注で、平成28年4月1日に公益社団法人桑名市シルバー人材センターと契約締結しました放置自転車等保管所管理業務委託におきまして、シルバー人材センターの派遣職員の1人が保管自転車を持ち帰っていたことが判明しました。こちらのほうは、桑名市請負工事入札参加資格者指名停止基準別表第2第7号の不正または不誠実な行為に該当いたしますので、契約締結者のシルバー人材センターに対しまして、平成29年3月30日からの2カ月の指名停止を講じました。

他の6件につきましては、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして、本市でも同等の措置を講じたものです。

次に、談合情報の状況でございますが、対象期間内において寄せられたものはありませんでした。

以上となります。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明についてご質問とか、ございましたら、よろしくをお願いします。いかがでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

では、この件につきましては以上といたしたいと思います。

### (3) 抽出事案の審議について

続きまして、議事の(3)です。

抽出事案の審議についての項目に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件3件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし

【委員長】

それでは、関係者の出席をお願いいたします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の3件の抽出理由につきまして、今回の抽出をしていただいた赤木委員からの説明をお願いいたします。

【委員】

1つ目は、落札率が高いことと、入札業者が1者しかないという点を見まして抽出しました。

2つ目については、今回の中でありますけど、候補の中では高額である点と、比較的失格者が半分弱ぐらいありましたので、抽出しました。

3つ目に関して言いますと、こちらについては、これも大体4割ぐらいの失格者が出ているようですので、このあたりを見まして抽出させていただきました。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

### 抽出事案 1 小島地内排水路改修工事

【委員長】

それでは、第1案件です。小島地内排水路改修工事につきまして、発注担当課様のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

おはようございます。都市整備部土木課でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

資料の9ページ、工事概要書をごらんください。

工事名は、小島地内排水路改修工事でございます。予算額は260万円、設計額は204万3,360円、工期は平成29年1月31日から平成29年3月24日まででございます。工事場所は桑名市長島町小島地内で、次のページの資料10ページの位置図の箇所でございます。

再度9ページに戻っていただきまして、工事の概要でございますけれども、地形上、平たんな地域にあります当該水路につきまして、勾配が緩く土砂が堆積しやすいため、底部にコンクリートを施工することにより土砂の堆積の抑制と清掃等の維持管理を容易にすることを目的としまして、本工事を施工いたしました。

工事の内容としましては、施工延長、全体で108.5メートル、土工一式、これはコンクリート打

設部分の掘削で、数量は46立方メートルです。底張りコンクリート工、寸法、幅1,300ミリ、厚さ100ミリで、延長は34.8メートル、同じく底張りコンクリート工、施工方法が道路に平行していないため、人力施工でしか行えない区間としまして73.7メートルを施工しました。

資料の11ページから13ページにつきましては工事図面で、11ページは平面図と標準横断面図、12ページ、13ページは全体の縦断面図となっており、図面中の旗揚げで表示している区間で施工を行っております。

ご説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

それでは、事務局から発注公告及び入札経過について説明させていただきます。

その前に、資料が不足しておりましたので、今日お越しいただいたときにお渡しさせていただいた公告及び入札経過表という両面印刷があると思いますが、そちらのほうがこの入札につきまして、1回目に不落になったときの情報となっております。

また、公告につきましては、金額、予定価格以外、ほぼ内容の変わるころはございませんので、これについては一まとめにして説明をさせていただきます。

それでは、資料の14ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。入札参加資格要件につきましては、土木工事業の許可業者であること、市内に本社、本店を登録していること、発注業種の完成工事高が予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績として、平成18年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び建築業法第26条に定める主任技術者を配置すること、以上の要件をもって公告をいたしました。

続きまして、入札の経過及び結果についてです。

まず、お配りしました別紙のほうの入札経過表をごらんください。

平成28年12月14日に入札を行いましたところ、1者から応札がございまして、開札の結果、最低制限価格を下回ったため、不落となりました。

続きまして、資料の15ページをお願いいたします。

ほぼ同じ条件で公告を再度行いまして、1月18日に入札を行いましたところ、1者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上、かつ予定価格の範囲内で応札した株式会社サコスを落札候補といたしました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き189万2,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、よろしくお願いいたします。どうぞ。

#### 【委員】

こちら、2つありまして、両方、1回目、2回目、1者と少なくなった何か事情があるのかという点と、もう一つが、1回目の入札で福田工業株式会社というところが最低制限価格を下回ったために失格で、2回目になったときに、素人的に考えちゃうと、最低制限価格を下回ったんだったらもっと値段を上げて入札し直す、2回目で入ればいいんですけど、ここに入っていないとかいう、何か事情があるのかなというところで、わかれば結構ですけど、お願いします。

#### 【事務局】

まず、1者ずつという経緯なのですが、もともと排水路の改修工事につきましては、例年、非常に応札者が少なく、1者から4者ぐらい、よく入ってそのぐらいというふうな応札者になっております。

また、1回目、福田工業が最低制限価格を下回ったのは、これは計算違いとか、そのぐらいで、ほんのわずかな差ですので、そういうのだとは思いますが、本来でしたら、確かに2回目に少し上げて入れてくるのであろうとは思われるんですが、ここで応札されなかったのは、ほかの工事があったのでは

ないかというので、1月以降の工期になるので、受けられないんだということで、想像でしかありませんが、この会社の都合で入れてこなかったのだと思われます。

また、100%で応札してきたサコスにつきましては、こちらも初回では入れてこなかった業者さんなんですが、これも、よくあることなのですが、手持ちの工事はあるものの、そんなに、絶対とりたいというほどでもないような場合、業者さんが100に近い金額を入れてこられることがあるようなので、今回もたまたまそれで出したところ、ほかに何もなかったというのでこういう結果になったのではないかと考えております。

【委 員】

ありがとうございます。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

【事務局】

補足という形ですけれども、1回目の入札していただいた福田工業さんですけれども、ちょうど同時期にほかに2カ所も桑名市で受注されておりましたので、そんな関係もあって、時期的に無理だろうということで再度の入札には遠慮されたのかなと思っております。

以上です。

【委員長】

ほかはいかがですか。

【委 員】

1回目が不調であったということで、190万円の予定価格が204万円ということで、これは値段が安いので上げられたということでしょうか。

【担当課】

入札で落ちなかった場合とか、業者さんは業者さんで現場を見られて現状で見積もられると思うんですけれども、発注者側としても、現場がより正確に設計されておるかどうかなというのをまた確認して、精査して、発注をさせていただくというふうにさせていただいておるんですけれども、堆積しておる土の量とか、その辺を精査しましたところで、若干数量が上へ行ったので、2回目の入札のときにはその分を加味させていただいています。

【委 員】

予定価格を下回って失格になったものを改めて予算を増やすということはどういう意味なのかなと思いましたので、質問させてもらいました。

【担当課】

低かったという現状があったんですけれども、もう一度現場を精査して、より現実的な設計というんですかね、そういうふうにさせていただきました。

【委員長】

ほかはいかがですか。

【委 員】

今の佐藤委員と同じ質問なんですけれども、1回目で不調になった場合に、今回の説明では、見直したところ、より必要な材料があったということで値段を少し、予定価格を上げられたという話なんですけれども、例えば、業者さんたちが嫌って不調であった場合に、予定価格を2回目のときに上げられるというようなことはこれまでもあったんでしょうか。

【事務局】

1回、開札を行いまして、それで結局落ちなかったということになった場合、その予定価格に対しての最低制限価格がわかってしまいますので、一応、設計自体は必ずやり直しという形をとらせていただきまして、その過程で上がる場合も下がる場合もございます。

今回、たまたま上がりましたが、下がることもございますし、低いときでないと失格は出ないので、



本来ですと、大抵みんな、失格の場合は下回るんですが、最低制限価格を計算するのに、業者さんは予定価格を見た上で計算をされますので、再度、また次の公告で予定価格が上がりましたよというふうに言いますと、また業者さんが、前はこの金額でちょっと下やったと、また今回、上がったんやと、それを加味して修正されると思いますので、わざわざ業者に合わせて下げるとか上げるとかはしなくても、あちらのほうから調整していただけるので問題ないような入札がいつもできていると思っております。

【委 員】

ありがとうございました。

そうすると、いわゆる不調だからもう少し値を上げてやったほうがいいんじゃないとか、そういったことは一切かわっていないということですね。

【事務局】

基本的に、そこからの考えはございませんので、ただ、原因的に何が原因かとか、わかるのがあれば、それを配慮したり、そのためにつけ足したりとかいうことは、要件によってはあるかもしれません。

【委 員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほかはいかがですか。

そうすると、今のご説明ですと、不調だったので単純に下げるという話ではないということになるんですか。それは、逆に言うと、偶然不調の場合に、念入りに設計というか、どれぐらい必要かというのを見たところ、偶然上がったりする傾向があるんですかね。ということは、それだけ最初の見積もりがどう、精度というか、別の理由だとすると、逆にそのところでちょっと疑問が出てくるんですけど。やるたびに変動するというのは、素人的にそこが腑に落ちないです。

【担当課】

設計をつくる前に、現場で測量をして、工事によって、例えば、3年ぐらい継続でずっとやらんならんような工事の場合でも、一番最初に全体を測量して全体の設計をつくったりとか、そういった設計をするケースとかもありまして、例えば、2年3年たって、現地がまた土が増えておるとか、そういった現状も事例としてもありまして、ということで、やはり入札が不調であるということで、再度、現場を精査して、より現実に近いものに、上がったり下がったりという、そのままということもあると思いますけれども、設計の内容を精査させていただいて、今度、また応札者ができるだけ参加していただくように配慮はするように努力しておるところです。

【委員長】

ある程度納得しましたけど、やっぱり入札が不調になったかどうかという話のストーリーと、より正確な、どれぐらいお金がかかるかという制度の問題と別なら、ある程度配慮しているのよという話なら、それはそれで整理されていると思いますが、何となくあやふやな感じが残りますね。

ほかはいかがですか。

【委 員】

確認なんですけど、予定価格は公表しているんですか？

【事務局】

しております。

【委 員】

どっちみち、とれなくてもいいやということで予定価格どおりにぼんと入れてきたということですね。

【事務局】

そうです。

【委 員】

さっきの議論は、最低制限価格が少し上がったという議論でした？ 予定価格が上がったという議論でした？ 2回目の。

【事務局】

2回目は、予定価格が上がりまして、それに合わせて最低制限価格も上がりました。

【委 員】

両方上がったということですか。

【事務局】

はい。

【委 員】

前は幾らぐらい。

【事務局】

初回のほうが予定価格が176万4,000円で、最低制限価格が141万円、2回目は予定価格が189万2,000円で、最低制限価格は151万2,000円となります。少しずつ上がっています。

【委 員】

そんなには、すぐに飛びつきたくなるほどの値段では全くないですね。むしろ、最低制限価格としていなくて、予定価格で入札するというメリットを得たわけですね。会社にとっては予定価格でとれたというのはすごい大きなメリットだということですね。

【事務局】

メリットだと思います。

【委員長】

最初と次は会社が違うんですよね。会社が違うわけですね。

ほかはいかがですか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件については、特に問題はないと思いますけれども、個人的には、もう少しご説明の考え方のところを整理していただいて、今後は、すぐにという話じゃないですけど、整理される方向でということですね。

## 抽出事案 2 福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事（その2）

【委員長】

それでは、次の第2案件に行きます。

福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事（その2）につきまして、発注担当課のほうから工事概要を説明していただいて、その後、事務局のほうから発注公告の流れと入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

工事名、福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事（その2）、設計額4,833万4,320円、工期、平成29年2月20日から平成29年8月31日まで、施工箇所、桑名市高塚町地内でございます。概要書の次のページをめくっていただきますと位置図がございます。北別所の稲荷神社の北西あたりになります。位置図には入っておりませんが、西医療センターの南西あたりでございます。

工事概要につきましては、污水管敷設工事を開削工法で行い、高塚町地内の污水整備を行うものでございます。

具体的な内容といたしましては、污水管敷設工といたしまして、管径150ミリの硬質塩化ビニール管を延長583.7メートル、組み立てマンホール設置工6カ所、小型マンホール設置工、塩化ビニール製のものを6カ所、公共污水枳設置工54カ所、舗装復旧工2,973.3平方メートルでございます。

以上でございます。ご審議のほう、よろしくお願いいたします。

【事務局】

では、続きまして、発注公告と入札経過につきましてご説明を申し上げます。上下水道部企画総務課でございます。

資料につきましては、32ページのほうをよろしくお願いいたします。

入札方法につきましては、事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加要件は、市内に本社または本店で登録をしている土木事業の許可業者で、4,000万円以上の下請契約をする場合は、一般の許可業者は参加不可としております。また、経審点数が650点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成18年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の実績を有することとしております。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、4,000万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとして公告をいたしました。

続きまして、入札経過及び結果でございます。資料につきましては33ページをお願いいたします。

平成29年2月7日に入札を行いましたところ、13者から応札があり、開札の結果、5者が最低制限価格の算出基準価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち、最も低い価格で応札をした者が5者ありましたので、電子くじによって株式会社昭栄建設を落札候補者といたしまして、事後審査を行った結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者といたしまして、税抜き価格で3,681万3,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問等がございましたらお願いします。

【委員】

まずは抽出理由で、失格が多かった理由というのを説明していただければと思います。

【担当課】

これにつきましては、通常は下水道の開削工事におきましては工事だけなんですけれども、今回、傾斜のある地区ということで、家屋に被害を及ぼす可能性のある箇所の事前の家屋調査というものを今回の工事に入れております。その部分で、通常の調査委託ですもので、その辺の積算に誤差が出たのだと思われます。

以上です。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

ほかにはどうですか。

【委員】

入札については特に疑義はないんですが、污水管、下水道ですよ。

【担当課】

そうですね。

【委員】

これの桑名市における配置状況という、軽く教えていただけると。

【担当課】

桑名市の下水道につきましては、普及率が今75.2%ということで、多度町、長島町、旧桑名市になるんですけれども、多度町と長島町につきましてはほぼ終わっております。旧桑名市につきましては、まだ未整備の地区がございまして、ちょうどこの高塚町というのは駅のちょっと西側に当たるんですけれども、今、そこのところを整備しておるところでございます。駅の西のほうはまだ未整備のところ

多く残っている状態でございます。

【委員】

素人が質問するので、もし、間違いがあったら教えていただきたいんですが、こちらの污水管の敷設工事に関しては非常にたくさんの応札があったわけなんですけど、一回やりました排水路の改修工事だと、いつもいわゆる応札が少ないというふうに先ほどお聞きしたんですけれども、同じような、いわゆる水に関するところの工事だと思うんですが、どうして排水路のほうだと応札が少なくて、こういった改修工事だと多いのかという何か、すみません、素人の質問ですので、よろしくお願いします。

【担当課】

今回の工事の工期を見ていただきますと、平成29年2月から29年の8月ということで、通常、年度内工事が基準でございます。年度内ということになりますと、なかなか今の業務を業者さんが行っていくのに、なかなかとっておると厳しいというところがあるんですけれども、年度をまたぎますと、通常、新年度ですと、どうしても発注の時期から契約をして工事を始めるまでに二、三カ月かかるというところで、4月、5月、6月というのが工事的には手薄になるというところで、今回の条件を見ますと、業者さんが比較的工事が無い時期に施工できるということで2月に参加されて、とられたというふうに考えております。

【委員】

そうすると、先ほどの排水路改修工事も、時期的には同じような時期じゃないですか。いわゆる工事の薄い時期だから応札が多かったというんだったら、今回の審査対象になっているところというのは、みんな、応札の多い時期でいいんじゃないかなと思ったんですが、それは違うんでしょうか。

【事務局】

先ほど、工務課長のほうからもご説明がありましたんですけれども、発注時期は同じ時期なんですけれども、やはり年度内、90日という設定で当初工期設定していますけれども、限られた、比較的工事の規模は小さいんですけれども、やはり準備工とか、全てを含めて90日間という、やはり期間が限定されるところがあって、工事の金額自体も低い中で、業者さんにとって、大きい工事とちっちゃい工事だと、小さい工事は魅力がないのかなというふうに感じています。

【委員】

ありがとうございました。

そういうことであれば、言いたかったことは、いわゆる工事の薄い時期であれば、皆さん、応札がたくさんしていただけるのであれば、もちろん実際その現場の必要時期というものがありますので、入札のためだけに時期をずらすということはある得ないとは思いますが、例えば、そこが可能なのであれば、いわゆるできるだけ多くの方が応札していただける時期に、一つ一つの工事が、金額の多寡にかかわらず、業者さんにとって魅力ある工事であるようなところを工夫しながら、いわゆる公正な競争というか、そういったものが実現できていくといいなと思いましたので。ありがとうございました。

【担当課】

それにつきましては、国のほうからも平準化の発注とか、ご指導いただいておりますので、契約監理課と調整しながら、できる限り平準化に向けて努力はしておりますので、予算の関係とかで、どうしても多少波ができるというところでございます。ご理解いただけるかと思います。よろしくお願いします。

【委員長】

ほかはいかがですか。

それでは、この案件につきましては、特に問題はないと思います。

今、既にやりとりがありましたけれども、工事の内容の緊急性等も、もちろんそれは重要なんですけれども、その上で、年度内のいつごろの時期に入札をかけていくかということについても含めて、一番いい方法というのを探っていただければというふうに思います。

### 抽出事案 3 (仮称)適応指導教室敷地地質調査業務委託

#### 【委員長】

それでは、最後の案件です。第3案件、(仮称)適応指導教室敷地地質調査業務委託につきまして、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から入札経過についての説明をお願いいたします。

#### 【担当課】

総務部財政課でございます。よろしくお願いいたします。

委託概要についてご説明をさせていただきます。資料34ページをお願いいたします。

委託業務名、(仮称)適応指導教室敷地地質調査業務委託でございます。予算額170万6,500円、設計額170万6,400円、履行期間、平成29年1月31日から平成29年3月24日まででございます。場所につきましては、次ページの35ページをごらんください。見取図を添付してあります。桑名市鍛冶町14番地でございます。本調査につきましては、適応指導教室の建設に先立ちまして、地質構成を明らかにするとともに、地盤強度等を把握し、実施設計、施工に必要な地盤資料を得ることを目的としております。

再度、34ページのほうをお願いいたします。

業務概要でございます。委託内容、ボーリング1カ所、延べ14メートル、標準貫入試験14回、孔内載荷試験1回、土粒子の密度試験、土の粒度試験でございます。

こちらからは以上でございます。

#### 【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明させていただきます。資料の36ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。入札参加資格要件につきましては、地質調査業者登録規定による登録業者であること、県内に本社、本店、支店または営業所を登録していること、また、技術者要件としましては、専任技術者として、地質調査技師のそちらに記された以下のとおりの技能を持った技術者を求めています。以上の要件を持って公告をいたしました。

続きまして、入札の経過及び結果についてです。37ページをごらんください。

平成29年1月18日に入札を行いましたところ、17者から応札があり、開札の結果、最低制限価格は算出基準価格である116万6,000円から121万2,000円に変動したため、6者が失格となり、最低制限価格以上、かつ予定価格の範囲内で最も安く応札した株式会社キンキ地質センター三重営業所を落札候補者としてしました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き121万5,000円で契約を締結いたしました。

以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきましてご質問をお願いいたします。

#### 【委員】

これは聞きかじりの知識なんですけど、シンプルなボーリング調査かなとは思うんです、一ヶ所です。そのわりにはというか、皆さん、入札価格が結構、おおむね、多くの方が10万以上、10万前後の差があったり、もっと大きいところだとさらに差がありますが、私の感覚、知識で間違っているかもしれませんが、シンプルな1本のボーリングにかかわらず、これだけの差が出てしまっているようにも見えるんですけど、そのあたりって何かあるんでしょうか。

#### 【担当課】

金額に差がありますというご指摘なんですけれども、私どものほうも、国の基準等で算定しております、根拠としてはしっかりしておるものがございます。ただ、言われるように、ボーリングだけであ

れば単純な作業なんですけれども、そのほかで、先ほども概要でございましたように、密度試験、粒度試験という形もございまして、試験を追加しておるというところで、ここも金額としては出ておるんですけれども、その部分で変動する、それぞれの会社さんのほうでその辺をどうされるかという判断があるのかなというのが1点と、あと、先ほどもありましたように、17者と非常に多くの業者さんが参加意欲の強いような業務でして、どうしてもぎりぎりのラインでとりたいというところの部分でそういう金額の差が出ておるのかなというふうにこちらは想定をしております。

以上になります。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

ほかはいかがですか。

【委員】

ボーリング調査ですと、この間もニュースとかもあって、ボーリング調査の後、くい打ちが支持層まで届かないとか、そういう話があって、今回、くい打ちじゃないんですけど、ボーリング調査でちゃんとくい支持層まで届くような調査をしないと、多分、そういうことにもなるのかなと思うんですが、私、その辺、あんまり詳しくないんですけれども、だから、やってみないとどこまで掘ればいいのかというのはわからなくて、予定価格を出すのが難しそうな気がするんですけど、どういうふうに出して、業者もどんな調査なのかというのを少し教えていただきたいです。

【担当課】

先ほどもございましたように、支持層が想定が難しい、当然土の中ですので、想定というふうになります。私どものほうも、先ほどの概要の中にもありましたように、ボーリング1カ所、延べ14メートルと、これでまず14メートルが支持層であるという想定をしております。この想定は、市有建物が近隣にございますので、そういったもののボーリング調査等から、このあたりの支持層はおそらく14メートルであろうという想定をしております。

仕様書のほうに14メートルというふうなうたうことによって、業者さんのほうとしましても、入札の段階としましては、14メートルのボーリングを掘るということですので、こちらのほうで積算はできるのかなと思います。

あと、言われるように、支持層というのは、やはり掘ってみないとわからない部分というのがございますので、実際の業務の後に、今回の業務でもそうだったんですけども、実際に掘ってみて、支持層が出るまで掘りますので、変更契約というものが出てくることが多々ございます。一応、そういった形で地質調査のほうにつきましては対応しております。

以上です。

【委員長】

ほかはいかがですか。

じゃ、この案件につきましては、特に問題ないと思いたしたいと思います。

それでは、以上をもちまして抽出事案の審議を終了いたします。関係者の方はここで退席をもらいまして。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退出)

【委員長】

次回の審議案件の抽出は、順番ですと佐藤委員になりますので、よろしくお願いします。

#### (4) その他

【委員長】

次に、（４）その他ですが、何かございますでしょうか。事務局のほうから。

【事務局】

特にはございません。

### ３ 閉 会

【委員長】

それでは、これで平成２９年度第１回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。

また、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。どうも本日はお忙しいところ、ありがとうございました。